

都市計画マスタープランの改正 ～都市構造可視化サイトを活用して～



岩手県陸前高田市建設部都市計画課

i-都市交流会議2020

1

1.改正前の状況

陸前高田市では東日本大震災後の復興事業の指針となる「震災復興計画」が平成30年度で計画期間終了となり、続いて平成31年3月に策定した「まちづくり総合計画」に基づく、都市計画マスタープランの策定を行うこととした。



⇒ 都市計画
マスタープラン

i-都市交流会議2020

2

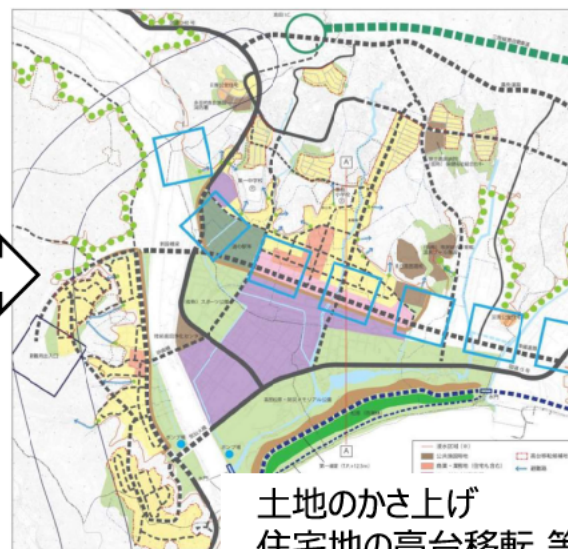
2.都市計画マスタープラン改正に向けての活用①

前回の都市計画マスタープランは震災前である平成12年3月に策定されたため、改正に向けて震災後様変わりした状況を確認する必要がある。→可視化サイトの活用

震災前の陸前高田市



陸前高田市復興計画



3.都市計画マスタープラン改正に向けての活用②

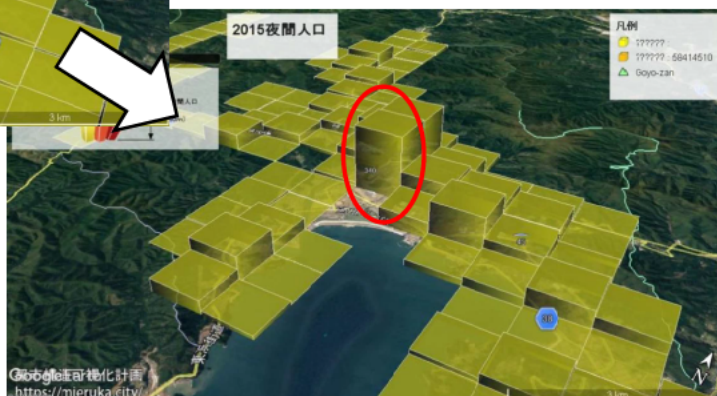
可視化サイトを活用し震災前と後を比較すると、『人口減少』が一目で把握できる。



特に高田町旧中心市街地
(2010年濃い黄色の地域)
の人口減少が見て取れる。

↑ 2010年夜間人口

2015年夜間人口→



4.都市計画マスタープラン改正に向けての活用③

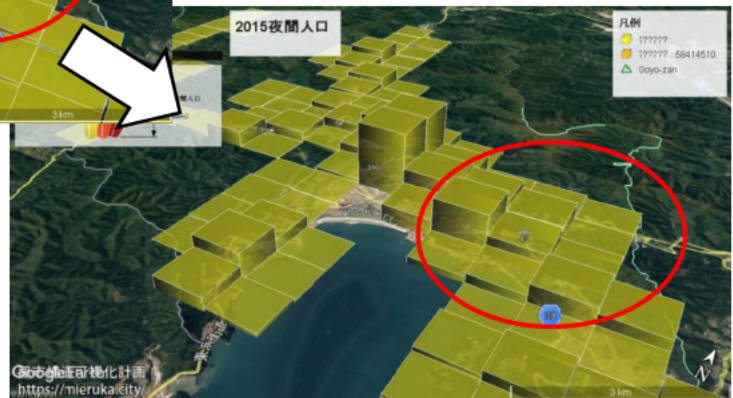
さらに、陸前高田市の中心地区である高田町の市街地の人口が減少し、中心市街地の周辺の人口が増加している。



人口が減っている中、居住者の増加が見て取れる。

↑ 2010年夜間人口

2015年夜間人口→



i-都市交流会議2020

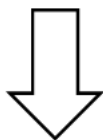
補注：都市構造可視化計画、地図は© 2019 ZENRIN、Google Earthを使用

5

5.可視化サイトにより視えてきたもの

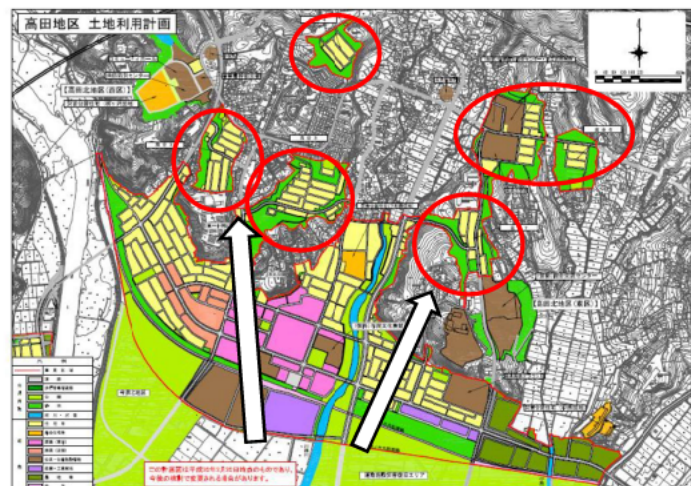
- ・震災の被災者や避難等のため他自治体への転出した者が多く、特に高田町及び気仙町今泉地区において以前からの懸念事項であった人口減に拍車がかかった。
- ・高台への住宅移転が進み、人口分布の点在化が進んだ。

24, 246人
(平成23年2月28日時点)



18,931人
(令和元年12月31日時点)

平野部から高台へ移転



i-都市交流会議2020

6

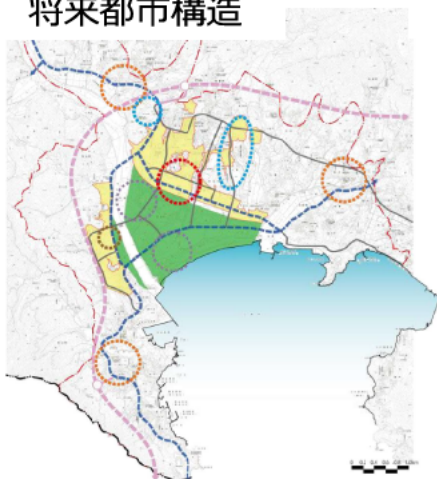
6.都市計画マスタープランへの反映

- ・人口減に対応したコンパクトなまちづくり
- ・移動しやすい都市とするための道路網及び公共交通

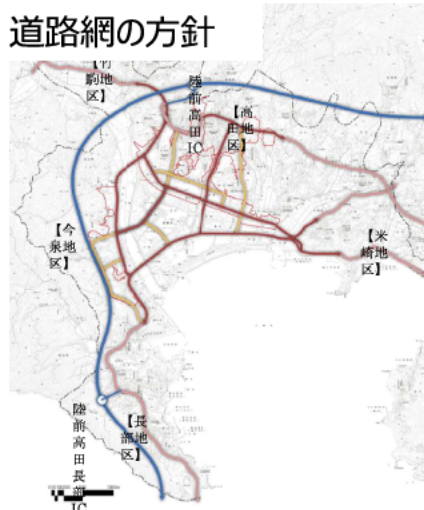
都市の将来像

共生と交流を育む、持続可能な都市
～多様性があり、コンパクトで、移動しやすい都市の形成～

将来都市構造



道路網の方針



新交通イメージ



i-都市交流会議2020

7

陸前高田市の紹介

都市の紹介

うごく七夕祭り



～おまつり～

けんか七夕祭り



旧暦の七夕に開催

～ご当地グルメ・フード～

ホタワカ御前→

↓イシカゲ貝



幻の貝



地域の魅力が凝縮！



公園遠景

～高田松原津波復興祈念公園～

道の駅 高田松原

オープンから1か月余りで
来場者10万人突破！



奇跡の一本松

i-都市交流会議2020

8